

## 教師の質は低下したか？

大阪大学大学院経済学研究科 佐野晋平<sup>+</sup> (J)

### 要旨

本論文は、女性の民間での雇用待遇が改善されたことにより、教員の質が低下したかどうかの実証分析を行った。教員の質の指標として、教員養成系学部の大学入試偏差値を用いた。1975年から2000年までの集計データ、および都道府県パネルデータの分析によると、1) 男女間賃金格差の縮小が偏差値で測った教員の質を低下させる、2) 学生は卒業時点の雇用状況ではなく、入学時点の雇用状況により進学を決定する、3) 男女雇用機会均等法は教員の質の向上に寄与するが、賃金格差縮小による質の低下の効果のほうが大きい、4) 都市部と地方では賃金格差縮小による質の低下の度合いが異なる、ということが明らかとなった。

---

<sup>+</sup> 連絡先：〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 6-1 大阪大学 社会経済研究所  
E-mail : sano@iser.osaka-u.ac.jp